

第59回

# 香川大学祭

実行委員長 高原 良明

## オープニングにて



▲スポーツ大会(バレーボール)



▲チア リーディング

今年の香川大学祭は、11月1日(木)から4日(日)にかけて行われました。主なイベントとして、平井喜美さんによるライブ、笑の大学さんによる漫才や、Bachiccoさんのライブ、チキチキジョニーさん、弾丸ジャッキーさん、なすなかしにさんのお笑いライブがありました。他にもカラオケ大会や早食い大会、ビンゴ大会などもあり、大変盛り上がりました。

今年のテーマは、「若者の持つ激しさを前面に出す大学祭を」という思いを込めて「激」にしました。今年の大学祭は、まさに「激」という文字に負けない大学祭だったと思います。約90の団体が参加していただき、大学祭を盛り上げるために頑張ってくれました。

また、大学祭にかかわったすべての人に感謝し、御礼を申し上げます。来年もまた、素晴らしい大学祭になるように願っております。特に、来年の大学祭は第60回ということなので、大学祭の還暦を最高の形で祝えることを祈っております。



▲子どもまつり

## ファイナルでのビンゴ大会



# 第28回香川大学医学部祭

実行委員長 阪本 浩助

## カウントダウン!医学部祭スタート



平成19年度の香川大学医学部祭は10月12日(金)から14日(日)にかけて開催されました。今年で28回目となった医学部祭では多くの企画が催されました。毎年恒例となったミスター医学部コンテストやサークル対抗なんでもコンテストを始め、昨年人気だった企画もさらに充実させることができました。また、今年も学生支援プロジェクトからの予算もあり、お笑いコンサートには、たむらけんじやメッセンジャー等、今話題の芸人を呼ぶことができました。また、医学部祭のメインでもある医学展、看護展では臓器移植に関する講演会やICLS勉強会による救急蘇生の展示発表、展示会場を増やしてパネルの表示や実際の寄生虫標本の観察など内容の充実したものになりました。特に、今話題になっているメタボリックシンドロームや寄生虫、喫煙に関する展示は多くの方が関心を示されていました。

来場者された方の数も多く、医学展には500人を超える来場者があり、また臓器移植に関する講演会には100人を超える来場者がありました。医学部祭の目的の一つでもある地域の方々との交流は十分に図れたと思います。また、学生自身も医学部祭を大いに楽しむことができ、大成功のうちに終わった医学部祭でした。

この成功を支えてくださった各スポンサーの皆様や学務委員の先生方、学務室の方々、そして参加してくださった各サークルの方々に改めて厚く御礼申し上げます。ありがとうございました。来年度の医学部祭もまたさらに素晴らしいものになることを心より願っております。

## ピストロ×KUDM



医学部模擬店で一番おいしいメニューはどこか?

## 模擬店 客寄せ手品披露中!





# 第4回工学部祭

実行委員長 木村 昭博



▲ピーター・フランクル講演会

11月3日(土)、オープンキャンパスの一環として第4回工学部祭が開催されました。まず始めに、ご来場されたお客様と工学部祭開催のために多くのご助力をいただきました関係者様に心より御礼申し上げます。

今までの工学部祭は、「香川大学祭」や「医学部祭」のような盛り上がりには欠けていました。そこで、今年度は初めてキャンパス内にステージを建てることに挑戦し、その結果、午後からの企画には100名以上の方に参加していただき、笑いや歓声が飛び交い、最後のJAZZコンサートには80名近くのお客様が残ってくれました。多くの方から、過去最高の出来と言われ、大成功に終わり、実行委員一同嬉しく思っております。

今年度は、工学部開設10周年記念ということで、講師にピーター・フランクルさんをお招きして、ジャグリングやクイズを交えた講演をしていただき、小中学生でも楽しめ、会場には立ち見の方がみられるほどの大盛況でした。その他、毎年恒例の人気授業体験会や公開卒論発表会も、高校生にとっては、工学部を知る絶好の機会になったと思います。

しかし、工学部祭と同時にオープンキャンパスも行ったため、実行委員が企画した催し物を全ての方に見ていただくことができませんでした。来年度は、大学側と調整することで、両方を楽しんでいただけるようにしたいと思っています。また、「香川大学祭」とも重なっていることで、工学部の学生が「香川大学祭」へ参加してしまい、学生の姿はあまり見られませんでした。まだ研究室配属をしていない1,2年生にとって、どのような研究が行われているかを知るチャンスが活かされていないので、来年度からは日程をずらして開催できればよいと考えています。

今年度の実行委員は大学院生で構成されており、世代交代をしていかなければ、工学部祭を継続して開催することが難しくなっています。そこで、上手に世代交代を行って、第5回、第10回と工学部祭が続いていくことを切に願っています。



▲JAZZコンサート



▲模擬店風景

# 農学部収穫祭2007

学生支援プロジェクトリーダー 小林 美幸

平成19年度の農学部収穫祭は文化の日11月3日(土)に開催されました。本年度は大規模な建物改修工事を行っているにもかかわらず、昨年にもまして多くの方にご来場頂き、地域の方々に認知されてきたということを実感いたしました。学生が主体となった学生支援プロジェクト事業の参加メンバーは、学部長からキャンパスボランティアとして企画実行を委嘱され、研究紹介を行いました。これを通じて自分たちの行っている研究をわかりやすく説明し、多くの人々と交流でき、貴重な経験となりました。来年以降さらに多くの学生が参加し、より活気あふれるイベントとなればいいと感じています。その他の収穫祭の主なイベントとしては、留学生によるお国自慢料理や餅つき、ソーセージ・アイスクリーム製造体験、農学部で栽培した野菜や苗の販売を行いました。特に留学生によるお国自慢料理は長蛇の列となり、収穫祭の名物となりつつあります。入試相談会も行い、高校生も多く来場し、香川大学を知ってもらう良い機会となりました。

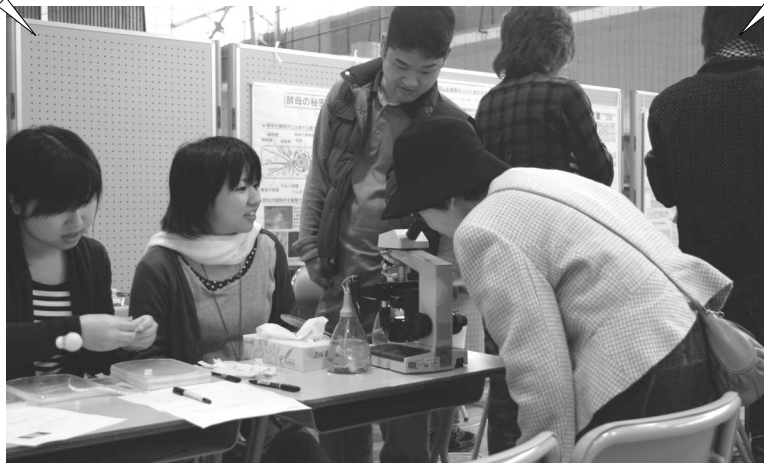
開催にあたり、ご支援、ご協力くださいました関係者の皆様、そしてキャンパスボランティアの皆様にご場を借りて御礼申し上げます。ありがとうございました。このような素晴らしい農学部収穫祭が来年度以降も引き続き行われていき、さらに多くの人々に受け入れられていくことを心より願っております。



▲毎年恒例 餅つき



▲ソーセージ作りを体験



▲研究紹介